

第2回 令和プロテクト・トーク「消防関係機関と市長の対話」

要約

日 時：令和4年10月24日（月） 18：00～18：30

場 所：消防局2回多目的ホール

出席者：消防関係4機関（16名）

- 薩摩川内市市：田中市長・上戸市民安全部長・遠矢市民安全部次長
- 薩摩川内市消防局：佐多消防局長・濱田警防課長
- 薩摩川内市消防団：宮里団本部副団長・石塚中央大隊長・山本西部大隊長
西東部大隊長・平嶺上甑大隊長・下野下甑大隊長
山ノ内団本部本部員・中満活動活性化等委員長
- 消防後援会連合会：下園会長・加治屋副会長・外菌事務局長

■あいさつ 田中市長

第1回の令和プロテクト・トークから、あっという間に4ヵ月が経過した。

今年は消防操法大会（市・薩摩支部・県大会）も4年振りに開催され、消防団の基本的な行事もようやく実施できたところである。

今日はキャンペーンの一番大事な部分、消防団員、マンパワーの確保がテーマとなっている。マスコミ公開で各機関の幹部が対面で意見交換、情報共有ができることは貴重な場である。

また、今後のテーマ又はテーマ以外のことでも何かアイデアや課題提起があれば、警防課又は私まで直接申し付け下さい。

■協議 座長：田中市長

1 プロテクト・キャンペーン期間中の各機関の取組みについて（報告）



薩摩川内市

- ・市公式LINEによる配信
- ・広報薩摩川内掲載 vol.430 9月10日号 「人のとなりに」
※副田分団の団員にスポットを当て、その人物や活動を紹介。
vol.431 9月25日号 情報掲示板



薩摩川内市消防局

- ・消防庁舎敷地に横断幕、のぼり旗を設置及び電光掲示板による団員募集表示
- ・FMさつませんだい出演：9月2日（金） 警防課長代理
- ・広報薩摩川内掲載：vol.432 10月10日号「我ら薩摩川内市消防団」
※本市消防団の主な活動及び現状と課題を掲載
- ・市民運動会での団員募集活動：10月9日（日） 課署長及び中央署隊員



薩摩川内市消防団

- ・防災フェスタでの団員募集活動：9月3日（日） 団長以下団幹部
- ・活動活性化等委員会広報部で消防団員募集のチラシを作成
- ・各地区で開催された運動会や各地域のイベント（球技大会など）で消防団員募集チラシを配布
- ・各自治会の回覧板でチラシを回覧
- ・市民運動会での団員募集活動：10月9日（日） 副団長以下団幹部



消防後援会連合会

各地域の団員候補となる若者等のリストアップ（女性候補も含む）

座長

どの機関も精力的に取り組んでいただき感謝している。



消防団員募集の様子

薩摩川内市消防団 消防団員募集

消防団員募集に関するお問い合わせは
※受付：月曜～金曜日/8時30分～17時15分
薩摩川内市 消防局警防課 消防団係
0996-22-0125

募集チラシ

「みんなの119」

我々 薩摩川内市消防団

本市で現在、1,204人の消防団員が市民の安全のため、日夜活動しています。消防活動は、火災や水害といった自然災害、交通事故など、さまざまな無防備な状態から市民を守らなくてはならないという重大な使命を帯びています。市民の安全を守るため、消防活動は、常に最新の知識と技術を身に付け、日々研鑽を怠りません。また、市民生活の安全のため、消防活動は、常に最新の知識と技術を身に付け、日々研鑽を怠りません。

■本市消防団の主な活動

消防活動は、火災や水害といった自然災害、交通事故など、さまざまな無防備な状態から市民を守らなくてはならないという重大な使命を帯びています。市民の安全を守るため、消防活動は、常に最新の知識と技術を身に付け、日々研鑽を怠りません。

■本市消防団の現状（R4.4.1現在）と課題

項目	人数	割合
消防団員総数	1,204	100%
男性	1,180	97.9%
女性	24	2.0%

急募 あなたの力が必要です！
消防団員を募集しています！

広報薩摩川内掲載

消防団員募集

消防活動は、火災や水害といった自然災害、交通事故など、さまざまな無防備な状態から市民を守らなくてはならないという重大な使命を帯びています。市民の安全を守るため、消防活動は、常に最新の知識と技術を身に付け、日々研鑽を怠りません。

消防団員募集に関するお問い合わせは
0996-22-0125

2022.10.10 広報 薩摩川内 12

広報薩摩川内掲載

2 プロテクト・キャンペーン期間中の今後の取組みについて

上戸市民安全部長

広報紙での啓発、公式LINEでの定期的な発信をしたが、イベント等での周知が非常に効果があると思う。先日参加した市民運動会でも選手宣誓で消防団員募集を呼び掛けて、キャンペーン期間中だなど改めて思ったところだった。

市役所でも、例えば防災イベントで市長が挨拶される際の挨拶文に消防団の募集を触れながら、呼び掛けながら今後取組んでいきたいと考えている。

佐多消防局長

消防局は庁舎敷地に継続して横断幕等を設置することと、FMさつまさんに約15分程度出演して、団員募集を呼び掛ける予定となっている。

皆さんにご意見をお伺いしたいが、市内の大きな企業に団員加入促進の依頼文書を団長、局長名で出したらどうかと思っている。

宮里副団長

皆さんが団員確保に向けて積極的に取り組んでいただいております、頭が下がる思いである。

消防団は地区の機関紙への記事掲載や、火災予防運動期間中、火災予防だけでなく団員募集も呼び掛けたいと考えている。また、ラジオ放送でもPR予定である。

また、はんやまつりにも参加することになっており、消防団をPRしながら踊りたいと考えている。あと、下甑大隊がInstagramを開設して、色々な活動を投稿し、積極的に拡散している。

まだまだ出来ることは沢山あると考えている。消防団も積極的に動いていかなければならない。

下園消防後援会長

消防後援会としてはあくまでも消防団を支援していくという姿勢に変わりはない。

消防団員になるための資格があるようなので、チラシ等に記載してもらいたい。

市外に住んでいるが仕事は市内で働いている方がいて、分団によっては入団できないと思っている。

地元を回ってみるが、どうしても人がいないというのが現実である。人員の見直しができないかとの意見も出ているので、そういったところも共有できればと思っている。

座長

市外居住者の本市消防団の入団資格はどうなっているか。

濱田警防課長

本市の入団資格は、18歳以上で、薩摩川内市消防団の区域内に居住し、勤務し、又は通学する者となっている。

座長

この入団資格について、私も初めて知ったところであり、周知方をお願いしたい。

また、補足であるが、市長と各地区が語るコミュニティトークにおいて、私も最初の挨拶で消防団募集を努めて発言をしている。

消防局長からあった市内各企業への働きかけについてご意見はないか。

出席者

是非お願いしたい。

佐多消防局長

企業等に直接持って行き、担当者に現状を説明しながら協力を頂きたいと考えている。

加治屋後援会副会長

現役の団員が勤務体制に理解がないといけない。仕事で夜勤や拘束される時間もある部分をしっかりと理解して入団してもらうべき。

西東部大隊長

地方公務員にも協力してもらえないかと大隊から要望があった。昔は公務員やJ A職員は消防団に入れないというルールがあったようだがどうなのか。

上戸市民安全部長

現在は約 100 名の市職員が消防団として活躍している。
市役所としても市に貢献し、頑張ってもらおうよう呼びかけは行っていきたい。

座長

今、何名ぐらい入団の申出があったか分かっていますか。

濱田警防課長

キャンペーン期間が始まってから本日まで、二桁の方に入団の問合せをいただいております、女性からも問い合わせをいただいている。
期間もあと半分残っているが、新年度では充足率を上げることが出来るのではと感じている。

座長

キャンペーンの効果が少しずつ出ている。粘り強く説明を続けてもらいたい。宮里副団長、女性団員の反応はどのような感じか。

宮里副団長

女性団員数は減っており心配している。報酬に対する課税の関係で扶養に関する問題もあり、女性団員の勧誘が難しいとあちこちの分団長から話を聞いた。

座長

報酬加算で扶養から外れる合計の所得収入額になれば、ということであるが、ボランティア的に頑張ってもらおう消防団員なので、現役女性団員の方が個別に相談に乗るなど、調整していただければと思う。

あと、消防団員の処遇や今後のことであるが、コロナ禍もあり出場日数や時間、飲み会など簡素化される方向になっている。私は 20 年間消防団員をしたが、最近の民間で働く若い世代はスマートに、きちんと説明しなければ、消防団のような大きな組織に入り辛いと思うので、本市消防団の方向性として、処遇改善に努めているという呼びかけなど、統一した説明が大事だと思われる。

令和の時代で持続可能な組織を作るためには、女性を含めた若い世代が入りやすい環境を作っていくべきだと思うので、皆さんも今後議論を重ねてください。

下園会長から出た、声を掛けるにも人がいないという問題は、これはどうしても最低限の消防団のサービスを守りながら、人口減少と地区のバランス、場合によっては定数を見直さなければならないと思うが。

濱田警防課長

現在の定数は平成16年の合併当初のものを踏襲している。

今回のキャンペーンを踏まえ、地域差はあるが、どうしても人がいないというところが出てくると思われる。今後、これを検討材料として定数についても考え方を整理していきたい。

地区コミ会会長会議でも話をさせてもらったが、会長からも定数を減らす、あるいは処遇改善をしてはじめて入団が進むのではないかと意見をいただいた。これらを踏まえて幹部会議等で議論して現団員の負担軽減も行っていきたいと考えている。

■協議集約

座長

キャンペーンは11月30日で一区切りである。

団員確保の状況などを各員に通知していただきたい。人事は今後も続いていくので、はんやまつり、年末特別警戒、出初式などのイベントで一人でも多くの方に声を掛けながら、各機関協力して人材確保に取り組んでいきたいと思うのでご協力をお願いします。

新年度も公開でトークを実施して行く考えであるので、共有したいことや課題があればお知らせください。



市長あいさつ



協議の様子